

騒音・危険・資産価値低下

# 羽田増便による低空飛行ルートに反対する川崎区民の会 ニュース

2024年2月N0-22 代表世話人 橋 孝 TEL 044-287-7313 ・ 田辺一雄 TEL 044-333-7833

橋本勝雄 E-mail : Katsuo.hashimoto@gmail.com

☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆

## —安心・安全な町づくりを—

みなさん、子どもたちの今と将来のためにも、「命が守られて、安全な環境の下で生活できる」地域にしていきたいと思います。「危ない・うるさい」飛行を、これ以上続けさせてはいけません。

☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆

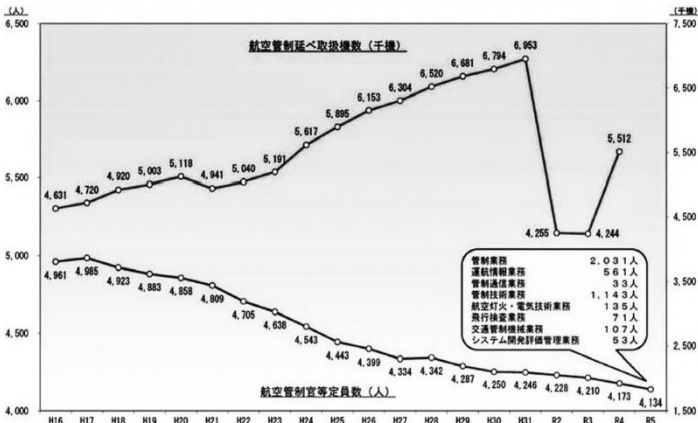
## 日航機と海保機が衝突・炎上事故発生

羽田空港で日航機と海上保安庁機が衝突・炎上した信じられない事故からもうすぐ2か月になります。両機が衝突・炎上し海上保安庁機の乗組員5名が亡くなりました。日航機の乗員・乗客379人全員が避難したことは奇跡的で、乗務員の避難誘導訓練が生かされたことを見逃すことはできません。

## 事故調査について

国土交通労働組合によると、犯罪性の無い航空事故について、運輸安全委員会の調査結果を刑事捜査や裁判の証拠として使用することは、日本が批准する国際民間航空条約（シカゴ条約）の方針から逸脱する行為であるとして是正を求め、刑事捜査より事故原因の調査を優先することを強く要請しています。再発防止を目的とする事故調査を罪や責任を課す刑事捜査などの司法行政手続きと分離することを求めています。

## 事故発生の背景に何が



「羽田空港の新飛行ルートの運用開始で、航空便の増大で羽田空港の運航が過密化したことが事故の背景にある可能性があります。国土交通労働組合によると、この20年間で管制官が取り扱う機数は1.6倍に増加する一方で管制官の人数は減少(グラフ参照)しました。安全確保のため増員を求めていましたが「国家公務員の削減計画」によって増員される事はありませんでした。

## 新飛行ルートの見直しを急いで！

新飛行ルートでは、羽田空港を離陸し、多摩川を越えた住宅地や川崎石油コンビナートに墜落事故が発生すれば、離陸直後の航空機には、大量の燃料を搭載しているため、羽田空港で発生した事故よりも激しく炎上し、コンビナートの石油・可燃性ガスが大爆発し、避難する時間もなく大災害が川崎区全域に広がるでしょう。

飛行ルート直下の住民にとっては、頭上の轟音に悩まされるたびに、炎上した航空機を連想し繰り返すことになり健康を害することが心配されます。一刻も早く以前の飛行ルートに戻すことです。

→→→→→→→→→→→→→→→→→→→→→→→→→→→→→

## 『後藤まさみ市議(共)の投稿』

### 私は川崎市議会12月議会で、石油コンビナート災害と騒音被害について質問を行いました。

1960年代に航空機事故が相次ぎ市民、議会、市長の運動で、国は1970年に原則石油コンビナート上空は低空飛行しないとの通知を出し、50年間空の安全が守られてきました。2020年3月、国は説明もなく通知を反故にし、国際競争力の強化を理由に羽田新飛行ルートの運行を強行し増便をすすめました。



## コンビナート事故は、川崎区全域に被害が及ぶ。説明がいっさいなしの川崎市

石油コンビナート上空で航空機事故が起こった場合の被害について、危機管理監は「爆風・飛散物・ファイヤーボール等の影響で川崎区全域、幸区の一部の約27万人が頑丈な建物内の避難が必要」と答弁。しかしこうした被害想定について市民にも知らせず、自主防災組織や町内会長が住民や災害時要援護者に避難誘導や指示を行うことも知らせてないことを明らかにしました。ハザードマップ作成、臨海部防災パンフレットの改善、教室型の住民説明会を開催し周知徹底を求めました。

## 殿町小学校の騒音はパチンコ店内と同等。学びの環境を守れ！

騒音についてまちづくり局長は「キングスカイフロントの測定局は平均値 84 dB、殿町小学校の最大値は 92 dB。パチンコ店内と同等の騒音が平均 3 分半間隔で飛行している」と答弁。中学生から「耳鳴りがする」「勉強に集中できない」との訴えを紹介し、住民の健康生活調査を行い対策をするよう求めました。市長に「現地に行ったことがあるのか、学びや生活の環境にふさわしいと思うのか」と迫りましたが、市長は「大きな音を確認した」とだけ答弁。

1 月 2 日には羽田空港で大規模事故が発生しました。「これ以上我慢ができない」「コンビナート上空で事故が起きたら避難は無理だ」区内でもますます心配の声が広がっています。回避するただ一つの方法は羽田新飛行ルートを中止し「海から入って海に出る」の元のルートに戻すことです。国に中止を求めるよう市長に強く要望しました。住民のみなさんの運動も広がっています。あきらめずに中止をさせるまで力を合わせていきます。

\*\*\*\*\*

## JR 川崎駅前宣伝行動

\*\*\*\*\*

2 月 10 日、羽田増便による低空飛行ルートに反対する「川崎区民の会」は、川崎駅前で宣伝行動を行いました。当日は暖かい晴天の為か駅前を通行する方が多く、「飛行機事故って怖いね」等と声をかけながらチラシを受け取る方が多く、あらためて航空事故の恐ろしさを実感しました。「渋谷の空を守る会」の須永さんが参加し、次のようなスピーチを行いました。

1 月 2 日に発生した海上保安庁機と日航機の衝突炎上事故の背景とされる羽田空港の過密化を解消する為、国際便を成田空港に戻し新飛行ルートを見直す事と国土交通労組が求めている管制官の大幅増員の重要性を訴えました。

前衆議院議員の畑野君枝さん、「羽田空港増便問題を考える会」大田区の松島さんが連帯のスピーチを行いました。



## 『川崎市民要求アクション』に参加

川崎市議会が始まる 2 月 13 日、「いのちと暮らしを守る川崎市民連絡会」主催で「川崎市民要求アクション」が行われました。市民運動を行っている団体・個人は、それぞれの要求を持ち寄り市民要求の実現を求め市役所前に集合しました。「羽田増便による低空飛行ルートに反対する川崎区民の会」も参加しました。



\*\*\*\*\*

## ☐ ホームページを開設 ☐



Web で 羽田増便による低空飛行ルートに反対する「川崎区民の会」で検索又は URL

<https://flight-route.com>

と入力してください。



### 《 3・4 月行動計画 》

- ☆ JR 川崎駅東口宣伝
  - 3 月 16 日 (土) 14 時～15 時
  - 4 月 13 日 (土) 14 時～15 時
- ☆ 拡大世話人会 (プラザ田島実習室)
  - 3 月 22 日 (金) 15 時～16:30
  - 4 月 26 日 (金) 15 時～16:30
- ☆ マルエツ前宣伝
  - 3 月 11 日 (月) 15 時～16 時
- ☆ シマホ前宣伝
  - 4 月 11 日 (木) 15 時～16 時
- ☆ 京浜急行川崎大師駅前
  - 3 月 23 日 (土) 14 時～15 時
  - 4 月 27 日 (土) 14 時～15 時